

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
地域デザイン学	地域創成科学科 専攻 博士前期 課程		

(1) 地域づくりにおける地域デザインとそのデザインの方法（デザインプロセス）について説明してください。以下の語群を1つ以上、使用すること。

語群： 交流、連携、参加、ワークショップ、ブレーンストーミング、地元学、地域資源、課題発見、課題解決、調査、分析、総合化、評価、コンセプト、地域マネジメント

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
地域デザイン学	地域創成科学科 専攻 博士前期 課程		

問 2

- (1) 自然公園法と自然環境保全法の違いを説明しなさい。
- (2) 我が国の自然公園における地域制公園制度の概要を説明した上で、地域制公園制度だからこそ保護されている我が国の自然公園の特性についてあなたの考えを記述しなさい。

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
地域環境保全学	地域創成科学 専攻 博士前期 課程		

問 1. 耕作放棄と野生動物とのかかわりについて、生物多様性と獣害の 2 点から考察し、400 字程度で説明しなさい。 (50 点)

問 2. 自身の研究テーマのキーワードを明記し、それを題材とした環境教育について、400 字程度で説明しなさい。 (50 点)

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
専門（地域環境工学）	地域創成科学 専攻 博士前期 課程		

次の大問 3 題のうちの 2 題を選択し、別紙の解答用紙を用いてそれぞれ解答せよ。なお、解答用紙の枚数は選択した大問 1 題につき 1 枚とし、問題ごとに解答用紙を替えて解答すること。

【問題 I】

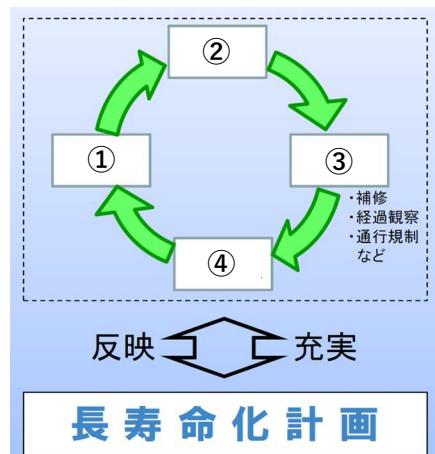
今年 1 月に発生した能登半島地震では、地震発生後 6 か月以上が経過した現在でも一部の地域で断水状態が続くなど、復旧・復興が迅速に進んでいるとはいえない状況下にある。それに関連して、次の問い合わせに答えよ。

- (1) 復旧・復興が迅速に進まない理由として考えられる原因について、①半島地形、②過疎化の進行が著しい地域、の 2 つの視点から、あなたの考えを述べよ。
- (2) (1)の解答内容をふまえ、今後、復旧・復興を加速させるための方策について、①技術的な対応、②社会的な対応（註：①以外の幅広い視点、と捉えてよい）、の 2 つの視点から、あなたの考えを述べよ。

【問題 II】

老朽化する社会インフラを効率よく維持管理し、長寿命化を図る上でメンテナンスサイクルの確立は必要不可欠であると考えられている。メンテナンスサイクルの概念図は右図に示される通りで、永続的に繰り返されることを想定している。下図の空欄①～④には a)～d)に示す 4 つのキーワードが並ぶが、その並び順として正しいと考える組み合わせを「①： ， ②： ， …」と記載せよ。また、①～④の並び順とした理由も述べよ。

キーワード： a)点検 b)記録 c)措置 d)診断



【問題 III】

次の間にそれぞれ答えよ。

- ① 排水改良の方法として具体例を一つ上げ、その方法とメカニズムを記せ。ただし、メカニズムに関しては以下の用語の中から 3 つ以上を用いて説明すること（用語の下にアンダーラインを引くこと）。
〈用語〉 水分特性 透水係数 間隙径分布 堆肥 通気性 耕耘 土壌改良材 団粒 暗渠
- ② 農地から排出される温室効果ガスを削減する方法を一つ上げ、その方法とメカニズムを記せ。ただし、メカニズムに関しては以下の用語の中から 3 つ以上を用いて説明すること（用語の下にアンダーラインを引くこと）。
〈用語〉 微生物活動 ガス拡散 好気性 CO_2 CH_4 N_2O 耕耘 中干し 施肥 消化液

大学院入学試験解答用紙（その1）

2025年度1期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
専門（地域環境工学）	地域創成科学 専攻 博士前期 課程		

【問題番号】

問題I ・ 問題II ・ 問題III (選択した問題の番号を「○」で囲むこと)

【解答】

大学院入学試験解答用紙（その2）

2025年度1期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
専門（地域環境工学）	地域創成科学 専攻 博士前期 課程		

【問題番号】

問題I ・ 問題II ・ 問題III (選択した問題の番号を「○」で囲むこと)

【解答】

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻		受 験 番 号	氏 名
地域環境保全学	地域創成科学 専攻 博士前期 課程			

問 1. 環境解析を行う際、地理空間情報技術を用いる利点について 400 字程度で述べよ。ただし次の A 群、B 群及び C 群に挙げる語句のうち、それぞれのグループから複数の語句を選び、記述すること。

A 群（用いる技術）：GIS（地理情報システム） リモートセンシング UAV（ドローン）
レーザースキャナー（測量用）

B 群：階層性、重層性、空間スケール、時間スケール

C 群：空間検索 レイヤ 位置情報 空間処理（ジオプロセッシング） オーバーレイ ベクタデータ
ラスター データ 空間的結合 空間相関

問 2. 大学院での研究で着目している生物の特徴を説明し、その生物を指標とすることで自身の研究がどのように環境保全につながるのかについて、400 字程度で論理的に説明しなさい。

問 3. 東京都の本土部（島しょ部を除く地域）の陸域における脊椎動物の減少要因を 400 字以内で説明しなさい。

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
保全生態学	地域創成科学 専攻 博士前期 課程		

以下の設問について、解答しなさい。

1. 日本および東アジアのフローラの特徴について説明しなさい。
2. アジアにおける植生帯の熱帯型垂直分布と温帯型垂直分布の特徴について説明しなさい。また、その中で琉球列島の位置づけについて、あなたの考えを述べなさい。